



TCA

— NEWS —

Vol.86 12月号

発行

富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会

国際交流フェスティバル2016 in TOYAMA

富山駅とCiCビルで世界を体験！

平成28年11月13日(日) 10:30～16:30



写真上：パラグアイのボトルダンス（CiCワールドステージ）

下：各国紹介、国際交流・協力団体、体験の各ブース（富山駅）

特集 国際交流フェスティバル 2016

11/13
(日)

主催／国際交流フェスティバル2016実行委員会

共催／富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA北陸

富山駅 & CiCビル

国際交流フェスティバル2016は、主催者側を代表して富山市民国際交流協会会長 高木繁雄の開会挨拶に続き、富山市長 森雅志様（代理：副市長 今本雅祥様）からご祝辞をいただき、昨年と同様、富山駅とCiCビルの2会場で始まりました。

富山駅には各国ブースを設け、富山在住の外国人が自国を紹介しました。CiCでは1階のステージの他、体験コーナーもあり、またスタンプラリーやいろいろな言語での「ありがとう」の言葉集めなど、大勢の人が2つの会場を行き来しながら異文化体験を楽しみました。

11月ということで天候が心配されましたが、当日は気持ちのよい秋晴れで暖かく、両会場で40の国と地域、29の国際交流・協力団体、約7千人の人出で賑わいました。そして、当協会の活動もフェスティバルで十分にアピールできたと思います。

観る・聴く

今回、富山駅からCiC1Fに会場を移してのワールドステージでした。開始早々は静かだったワールドゲーム大会も、進むにつれて応援団の歓声で盛り上がりました。パラグアイの踊りでは、かわいらしいちびっこダンスに観客もメロメロになって、写真撮影に熱が入っていました。



開会式（富山駅）



福笑い（富山駅）



ワールドゲーム（CiC）



オーストラリアクイズ（CiC）



ボリビアの歌と音楽（CiC）



各国紹介（富山駅）



中国の歌と音楽（CiC）



パラグアイのダンス（CiC）

食べる

CiC前の移動販売車では、インドのカレーに加えて今回は、フランス名物のガレット（そば粉のクレープ）の販売車もありました。



ステージ

富山駅ステージ

- ① 開会式
- ② 各国ブース紹介 & お国自慢

CiCワールドステージ

- ③ ワールド・ゲーム大会
- ④ オーストラリアクイズ
- ⑤ 沖縄の三線
- ⑥ フィリピンのダンス
- ⑦ パラグアイのポルダンス
- ⑧ パプアニューギニア紹介
- ⑨ 中国の歌と音楽
- ⑩ アメリカンフォークミュージック
- ⑪ マレーシア舞踊
- ⑫ ネパールの歌と音楽
- ⑬ コンゴ民主共和国の歌
- ⑭ ブラジルの踊り
- ⑮ 雅楽演奏
- ⑯ ボリビアの歌と音楽
- ⑰ 閉会式

Az idei toyamai nemzetközi fesztiválról

Az évente megrendezésre kerülő nemzetközi fesztivál olyan, mintha az ezerszínű világ egy napra Toyamába látogatna. Csak nagyon keveseknek adatik meg, hogy több, mint 40 országba ellátogathassanak életük során, de ezen a napon ritka alkalom nyílik arra, hogy egy helyen bepillantást nyerhessünk ismeretlen távoli országok rejtelmeibe, szokásaiba, kultúrájába.

A toyamai emberek előszeretettel használják magukra a “zárkózott” és “szégyenlős” jelzőket, de én ezzel nem értek

egyed. Akiket meghívtam, és idejük engedte, mind eljött ismerkedni, az újat megismerni. Jómagam a magyar standon örömmel fogadtam a toyamaiak érdeklődését kis hazám iránt, és meglepődve tapasztaltam, milyen sokan jártak már nálunk, vagy tudnak rólunk többet, mint hinnénk. Köszönöm, Toyama! UI: huncut aki ezt elolvassa!



Dinya Mónika

委員会報告

総務企画

国際交流TCAカレッジ 11月30日(水) 参加者32名

演題 「私たちにもできるボランティア」 ～やさしい日本語による災害時の外国人支援～

講師 (特非)神戸定住外国人支援センター 金 宣吉(きむ そんぎる)さん
＜要旨＞

外国人住民とのコミュニケーションツールの必要性は、日本の社会変化に伴い増大している。定住外国人の「自分がわかる外国語」は「日本語」が62.6%であることから、そのツールは必ずしも英語ではない。

そこで、やさしい日本語が重要で必要になってくる。ただしやさしい日本語とは、わかりやすい日本語であって、ルビ付けをしなくてもわかる日本語である。それらをもとに作り方を練習しましたが、地震用語などを簡潔にわかりやすく伝えるのはとても難しい。



文化交流

日帰り交流会 土人形絵付けと茶道を体験しましょう！

10月16日(日) 民俗民芸村 参加者11名

美しい秋晴れとなった日曜日。参加者たちの会話も弾む中、午前は「とやま土人形工房」にて絵付け体験をしました。来年の干支の酉、招き猫、フクロウなどの中から1つを選び、先生の丁寧なサポートのもと、皆さん真剣そのもので個性豊かな作品を仕上げていきました。続いて「茶室円山庵」へ。北アルプスが綺麗に見渡せる茶室で裏千家のお作法を学びました。先生によると、お茶の香りや味は海外の方々にも受け入れられているとのことでした。



土人形絵付け

ボランティア

料理交流会「夏バテを予防する食べ方のススメ」

8月30日(火) 市中央保健福祉センター 日本人12名 外国人6名

夏バテ予防のお話を聞いた後、4種類のメニューの料理に取り掛かりました。その中で耳慣れない「カラフルおにぎらず」は皆さんどんな料理かしら？と興味深々でした。それはおにぎりとおすしを合わせたような形で元気の出る具が入ったカラフルな品で、大好評でした。早速家で作ってみようという人達や、寒いときにいただくけんちん汁も暑い時に食べるのもいいねという方も多かったです。



国際教養

多国言語文化交流クラス

◇ 8月6日(土) アルゼンチン&スペイン語 講師 Geraldine Buffaさん

アルゼンチンは、移民の8割をイタリア・スペイン・ドイツ系が占めているので、従来の美しい自然に加えて、ヨーロッパの人達の感性で街が作られているようだ。

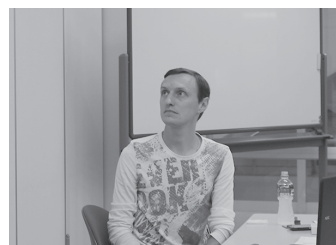
農業も盛んで、とりわけ牛や馬の放牧も多く、食肉の価格も南米の他の国よりも安い。ブラジルのバーベキューのシュハスコもアルゼンチンの肉料理から伝わっている。南米を長期間旅する人達の肉の買い込みはアルゼンチンに入ってからが常識の様だ。



◇ 9月3日(土) ベラルーシ&ベラルーシ語 講師 Kostsin Dzmitryさん

ヨーロッパ行きの飛行機を利用すると、現在どこを飛んでいるかという情報に首都ミンスクの記載がある。旧ソビエト連邦内の画家シャガールが生まれた国としか認識がなかったが、意外にもダンプトラックの生産が盛んとのこと。

切手に金額の表示がなくNの文字の表記だけでベラルーシ市内の郵便物が配達されている。言語はロシア語に近いが、お互いの言語で話し合っても6割ぐらいしか通じないようだ。



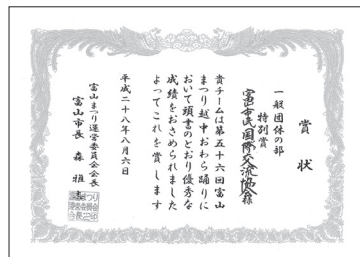
多文化共生事業

富山まつり「越中おわら踊り」 8月6日(土) 城址大通り 参加者 日本人18名、外国人30名

「越中おわら踊り」は、コンテストなので頑張って入賞しようという意気込みはあったものの、練習ではなかなか手足の動きを覚えられず、ちょっと緊張しながらスタートしました。他の団体は揃いの浴衣で踊りも上手でした。私たちのグループは浴衣も国籍もバラバラでしたが、皆さん楽しんで踊りました。多分、私たちのグループが一番ニコニコしながら踊っていたと思います。最後には踊りもまとまってきて、「審査員特別賞」をもらいました。日本の思い出が1つ増えました。



街流し(城址大通り)



特別賞を受賞

MPBで学ぶポルトガル語講座

<第4回>9月12日(月)

「MPBを代表する曲を歌いましょう」

講師 白川 セリナ サナエさん 参加者9名

リオ・オリンピック開会式のアトラクションで、ある曲が流れるのを聴いた時はしびれた。私達が講座で7月から練習しているシーコ・ブアルケの「コンストゥルサウン(構成)」という曲だったのだ。

講師の新しい試みは、ガンザー(別名エッグ・シェイカー)というパーカッション楽器で一人一人がリズムを刻みながら歌うことだ。ガンザーは、手に持って振れば鳴るので手軽だが、チキチキチとキレのある音を出すのは難しい。私は早々に歌を諦めて、ガンザーだけに取り組んだが、自分のリズム音痴を再確認するだけに終わった。

<第5回>10月17日(月)

「ブラジルのカントリーミュージックに親しもう」

講師 伊東 セシリア 久子さん 参加者10名

ブラジルで愛好者の多いカントリーミュージックは、セルタネージョと呼ばれている。その中の一つ、「カミニョネイロ」という曲の歌詞を音読する練習をした。先生に発音を習いながら何度も何度も繰り返し声に出して読んだので、初心者もいつの間にかポルトガル語の歌詞が読めるようになっていた。「次回講座までの二カ月間、家でたづぶり自習して、次回は音楽に合わせてスラスラ歌えるように」というのが、先生お手製のココナッツの焼き菓子と共に戴いた宿題だ。



日本語ボランティア登録者研修会 8月27日(土) 参加者 会員23名 一般2名

テーマは「ゲームを使った活動」で、5名ずつのチームに別れての実践講座だ。ゲームを通して学習したことを定着させるのが目的である。能力差で勝敗が決まるものばかりでなく、運の良さで得点出来るゲームも取り入れるとよいそうだ。

「私は誰でしょう?」のクイズでは、参加者も熱が入ってお手付きが出るほどだった。今回の会話実践演習は、ミラーさんが会社の同僚と昼休みに近くの食堂に行き、帰り道に他の同僚とばったり会い、誰と何を食べたかの会話を進める内容だ。まず講師によるデモ会話実践が行われた後、参加者がミラーさんになりきり会話の練習をした。皆さんとてもうまくなりきって演じていた。



社会に学ぶ『14歳の挑戦』～山室中学校～ 参加者2名

9月26日(月)から30日(金)までの活動でした。日本語クラスの見学や、中国・ブラジルのお話、国際交流フェスティバルの準備など学校生活とは違う経験ができたのではないのでしょうか。国際交流フェスティバル当日も部活動やクラスのお友達と一緒に、学生ボランティアとして受付やPRのお手伝いをしてくれました。



富山市総合防災訓練

事前研修会 9月10日(土) 参加者30名

最初に、東日本大震災や熊本地震の際に現地の多言語支援センターで活動された方から事例報告をうけた。実体験に基づく内容だったのでとても理解しやすかった。次に、避難所巡回訓練をしました。皆さん初めてだったので戸惑っている様子でしたが、次回の訓練本番まで、もう少し練習すればスムーズにできるかと思います。また、国籍に関係なく日本語ができる外国の方々にも語学ボランティアとして、参加してもらえたらもっと成果が上がると思います。最後に被災情報を翻訳し掲示する訓練も行いました。



事前研修

訓練に参加 10月1日(土) 大山社会体育館 参加者36名

例年と違い、今回は実際の避難所を想定して、避難所内のあちこちにいる外国人の間を巡回してその状況をまとめる練習をした。様々な事情を抱えた外国人になりきりその事情を各言語で聞き取り個人カルテに書き入れた。それを避難所ごとに一覧表にまとめるという練習だ。そのあと本部からの情報を翻訳して案内パネルに掲示する活動をした。外国人も日本人も真剣に取り組んでいた。



総合防災訓練

中学生英語講座 (10月から2月まで) 参加者30名

2年目を迎えた富山市中学校英語講座に、市内の中学校に通学する1年生から70名の応募があり抽選で選ばれた30名が、10月からの5カ月間(全15回コース)土曜日の午後に受講しています。

英国出身のルースさんとフィリピンからの国際交流推進員5名による女性講師陣のもと、受講生の皆さんは明るく華やかな雰囲気の中で、外国人との挨拶や基本的な会話を体験しています。回数を重ねるごとに緊張がほぐれてきたようで、会場はいつも笑顔で包まれています。



外国語ボランティア養成講座

●特別実地研修(前期のまとめ) 9月24日(土) 参加者 日本人35名、外国人7名

県内観光スポットを、外国語で発信できることを目標にした前期のまとめとして、実地研修の場に黒部市と入善町を選び実施した。バスの中では数人のグループに分かれて自己紹介した後、事前研修で得た知識でそれぞれ外国人に目的地の説明をした。

黒部市吉田科学館では、プラネタリウムやサイエンスショーについて、持てる語彙を総動員して展示の説明に挑戦した。次に入善町の杉沢の沢スギに向かった。暖地性、山地性、湿地性の植物が入り混じるこの鬱蒼とした森は世界的にも大変珍しい存在だ。その場でボランティアの方の説明を通訳する練習をした。

この講座での特別実地研修は初めての取り組みとなったが、説明を聞きながらの通訳は緊張感があってとても新鮮で充実したものになった。



杉沢の沢スギ

●後期クラス

第1回 10月22日(土) 参加者37名

《避難所での情報提供》

言葉の通じない国での災害時の不安を和らげるため、避難所において必要な情報を各国言語で提供する練習をした。まず初めに基本の表現を学んだあと実際に具体的な情報を翻訳した。最後に文化の違いによる翻訳の誤解を防ぐため各国の事情について話し合った。



第2回 11月26日(土) 参加者30名

《ゴミの出し方》

まず外国人講師に5か国のゴミ出しルールを日本語で説明してもらった。次にゴミ出しは日常生活の中で一番異文化摩擦が起きやすいので、分別などのルールを外国人に説明する練習を行った。最後に各国の事情を理解した上で、富山市のゴミの出し方のきまりを分かってもらうために必要な外国語を学んだ。



交流する

<富山駅>

各国のスタッフがパネルにお国自慢や紹介の写真、国旗などを飾って、母国のPRをしていました。「ありがとうコレクション」も大盛況で、用意していた景品の飴がすべてなくなるほどでした。



日本ブース



各国紹介



各国紹介



各国紹介

知る

国際交流・協力団体が、両会場で、パネル展示やバザーで活動の紹介やPRに努めていました。CiC 3 Fの富山国際学園サテライトオフィスでは、留学生による体験発表や市民英語スピーチが行われました。ロシア語スピーチコンテストは、今回も高いレベルで、発表の合間のロシア人による演奏に会場はとても盛り上がりしました。



団体活動紹介(富山駅)



団体活動紹介(CiC)

体験する

<富山駅>

「中国の花文字」、「中国結芸作り」は、いつもながら好評でした。特に今回初めての「折り紙」は、クリスマスリース作りでした。希望者が途切れることなく人気でした。

<CiC>

万国旗や花で飾られた会議室には、様々な体験コーナーがありました。中でも「富山のくすり箱」と「お箸作り」は、今回初めての企画でしたが予想を超える人気でした。「富山のくすり箱」作りでは、子供に付き添ってきていたパパさんのほうが、いつの間にか夢中になってトンカチでたたいてくすり箱を完成させていました。

毎年大人気の「日本の着物を着てみよう!」は、今回はお天気に恵まれたこともあって、着付け後、富山駅会場までそぞろ歩く姿もあり、会場がとても華やかになりました。

「紙三味線手作り」は、手作りを体験できるので、昨年に続きとても賑わっていました。



体験コーナー(富山駅)



富山のくすり箱(CiC)



紙三味線手作り(CiC)



日本の着物を着てみよう(CiC前)

ありがとうメッセージ

実行委員会事務局より一言

国際交流フェスティバル2016にご来場のみなさま並びに実行委員会ボランティアスタッフのみなさま、みなさまのおかげで、国際色豊かなフェスティバルにすることができました。本当にありがとうございました。

今年の国際交流フェスティバル in Toyama

ディニア モニカ(ハンガリー出身)

毎年開催される国際交流フェスティバルは、富山に様々な世界がやってくる1日のように思われます。40カ国もの国を訪れることができるのは、わずかな方だけだと思いますが、この日はみなさんが、遠く離れた見知らぬ国の習慣や文化を垣間見ることができるユニークな機会になりました。

富山の人々は、自分を保守的で恥ずかしがり屋だと言いますが、私はそうは思いません。

P2の要約文です

フェスティバルを多くの方々に紹介し、来ていただきましたが、みなさん積極的に各ブースを回って新しい出会いを楽しんでいました。

私の国は小さい国ですが、ハンガリーブースで、いろいろな質問を受けるのはたいへん嬉しく、驚いたのは多くの方がハンガリーを訪れたことがあり、私が想像していた以上にみなさんハンガリーのことをご存じだったことです。

富山のみなさんに感謝しています。みなさんハンガリー語わかりましたか?

国際教養

多国言語文化交流クラス

◇ 11月5日(土) オランダ&オランダ語 講師 Noortje Jansenさん

オランダの国土の半分は海水面より低く、風車で水をコントロールすることで低い土地を管理していることが図で説明され、参加者は風車の役割を理解したようだ。堤防は1932年に大堤防ができたが、1953年に嵐等の悪天候で決壊し、その後1997年までに新しい人口堤防がつくられた。

民族衣装は、地方色が強く宗教や職業により異なっている。現在、日常生活ではほとんど着られなくなっており、素材や装飾に凝ったものが多いうえ高価で、着るのも難しい。

ニシンの酢漬けが有名だが、尻尾を手で持って上を向いて食べるのを見たことがあるかもしれないが、ノーチェさんはそういう食べ方はしないようだ。



英語スピーチと討論の会

夏季特別講座

◇ 8月2日(火)

トピック: 'Migration crisis in Europe and the EU Brexit referendum'

スピーカー: Mr. Szymon Parzniewski (ドイツ出身)



例会

◇ 8月9日(火)

トピック: 'Cultural aspects in the UK, Germany or Poland'

スピーカー: Mr. Szymon Parzniewski (ドイツ出身)

◇ 10月11日(火)

トピック: "Britain: The Small Isle with Big Aspirations"

スピーカー: Mr. Nicholas Lavin (英国出身)

◇ 11月8日(火)

トピック: "Environment & Society: German Attitudes"

スピーカー: Dr. Kai Martens (ドイツ出身)



◆ 新規会員募集中 ◆

富山市民国際交流協会では、市民のみなさんが幅広く参加できる国際交流を推進するため、新規会員を募集しています。

みなさんも私たちの輪に入って、富山市の良さや国際交流の楽しさを一緒に発見しましょう！

ご入会特典

- ★協会広報誌TCA-NEWSをお送りします。
- ★各種イベントのスタッフとしてボランティア活動に参加し、外国の方と交流できます。
- ★語学講座や研修旅行、講演会に参加できます。

〈年会費〉個人会員	3,000円
家族会員	5,000円
法人・団体会員	10,000円

“勉強お助け隊”ボランティア募集

外国籍児童・生徒への学習支援事業として“勉強お助け隊”を開催していますが、宿題等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

- 毎週木曜日 16:00～17:30
- 毎週日曜日 10:00～11:30

救援募金

東日本大震災・熊本地震災害義援金募金に引き続きご協力をお願いします。

義援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまからお寄せいただいた募金は、日本赤十字社を通じて復興支援に役立てていただきます。引き続きご協力をお願いします。

(ボランティア委員会)

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（12月～3月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
12月3日(土) 13:30～15:00	多国言語文化交流クラス スペイン & スペイン語 Sofia Pastor Matamoros さん	30	富山市国際交流センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
12月6日(火) 10:00～13:00	料理交流会(3) 「お正月の料理」	20	市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
12月12日(月) 18:30～20:00	ポルトガル語講座 (MPBで学ぶ)	20	当センター	---	会員無料 一般300円	会員・一般
1月15日(日) 14:00～16:00	新春国際交流のつどい2017	150	CiC5 F 多目的ホール	合同	会員900円 外国人・中学生500円 一般1100円	会員・一般・外国人
1月28日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア 養成講座後期(3)	---	当センター	---	会員無料	会員
2月19日(日) 13:30～15:00	華道体験	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
2月25日(土) 14:00～15:30	私たちの活動説明会	---	当センター	合同	無料	会員
2月28日(火) 10:00～13:00	料理交流会(4) 「ひな祭りの料理」	20	市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
3月25日(土) 10:00～13:00	ディスカバー富山	20	楽翠亭美術館	国際教養	300円	会員・外国人
3月25日(土) 10:30～12:30	日本語ボランティア登録者 研修会	50	当センター	合同	会員無料 一般300円	会員・一般
3月(予定)	中国語集中講座	---	当センター	国際教養	未定	会員・一般

休館日（12月～3月） 12月なし、1月1日(日・祝)・17日(火)、2月21日(火)・22日(水)、3月21日(火)

※行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/> でご確認ください、協会までお問合せください。

〈講座日程の変更〉

12月17日(土) Cross Culture Meeting ⇒休講

12月24日(土) 英語通訳・ガイド実践クラス ⇒17日(土)

2月11日(土・祝) 韓国語会話 ⇒18日(土)

新春国際交流のつどい 2017開催!

新春恒例となりました新春のつどいを1月に開催します。
いろいろな国の文化体験をしながら楽しく交流しましょう!

- 日 時 1月15日(日)
14:00～16:00
- 場 所 CiC5F 多目的ホール
- 会 費 会 員 900円
外国人・中学生 500円
一 般 1,100円
※民族衣装での参加は100円引き。小学生以下無料
- 定 員 150名
- 内 容 日本文化体験(羽根つき、コマ、折り紙、福笑い、抹茶)、
世界文化体験(ゲーム、年賀状作り)、じゃんけん大会 他



私たちの活動説明会

私たちの輪に入り、
一緒に活動してみませんか!?

- 日 時 2月25日(土)
14:00～15:30
 - 場 所 富山市国際交流センター
 - 内 容 活動説明、体験談発表、
委員会紹介、ティーパーティー
- ※参加費無料



おめでとうございます

平成28年度
とやま国際草の根交流賞受賞

村田善市 さん



編集後記

落花生の殻のスマートな割り方をご存知ですか? 中央に縦に入った筋に指で圧力を加えるのですが、先端が尖った方の筋を押すと、パカッと気持ちよく真っ二つに分かれます。先日教わり、サル年の終わるのに合わせて、サルからヒトに進化できました。(日下)